

取扱説明書

鑄鋼製フランジ形T形ストレーナ

PV-813GT



株式会社 宮入バルブ製作所
MIYAIRI VALVE MFG. CO., LTD.

目 次

	ページ
1. 概 要	 2
2. 製品名	 2
3. サイズ	 2
4. 使用範囲	 2
5. 構造と特長	 3
6. 運搬および保管	 3
7. 配管要領	 3
8. 使用上の注意	 3
9. 点検および保守	 4
10. 分解・組立要領	 4
11. 交換部品	 5
12. 保証期間	 5
13. アフターサービス	 5
14. 構造図	 6

はじめに

この度は、宮入バルブの製品をご採用いただきまして、まことにありがとうございます。本取扱説明書を良くお読みになり、内容を理解された上で本機器をご使用下さいようお願い致します。また、必要に応じて利用できるよう、お読みになった後も手元に置かれることをお勧め致します。

1. 概要

高圧ガス設備の配管の中に、土砂、鉄屑などのごみが入った場合、配管が詰まる恐れがあるのと同時に、各種バルブ、機器類が損傷する危険性があります。これを防止する目的でストレーナが使用されます。これは、内蔵する金網によってごみを濾過し、溜ったごみを排除できる構造になっています。

2. 製品名

品 名		鋳鋼製フランジ形T形ストレーナ
型 式		PV-813GT
図面番号		B-50396

3. サイズ

15A、20A

(注) 呼びはフランジサイズです。

4. 使用範囲

取付時には、必ず次の仕様を確認の上ご使用下さい。

(1) 使用流体		可燃性ガス、毒性ガス(液、ガス)
(2) 設計圧力		2.4 MPa
(3) 設計温度		-5～120℃
(4) 耐圧試験圧力		3.9 MPa
(5) 気密試験圧力		2.4 MPa
(6) 接続仕様		JIS20K RF
(7) 本体材質		SCPH2

注意

これは標準仕様です。使用範囲が本仕様と異なる場合は、ご注文成約時の図面に記載されている仕様及び製品の検査成績表の内容と照合し、仕様の範囲内であることを確認した上でご使用下さい。

5. 構造と特長

- (1) T形ストレーナは、T形の形状を有するボディにスクリーンを内蔵したもので、スクリーンの取付角度はボディ中心線に対して90° となっています。
- (2) ボンネットを取り外すことにより、スクリーンを取り出しごみを排除できる構造になっております。
- (3) プラグを取り外し、内部の状況を点検し、ごみを排除することも出来ます。

6. 運搬および保管

- (1) ストレーナを落とす、倒す、投げる、引きずる等の乱暴な取り扱いで、強い衝撃を与えないで下さい。漏れ、故障の原因となります。
- (2) 運搬及び保管は、荷姿のままで、ゴミ、ほこり、雨等がかからないようにして下さい。
- (3) 配管接続フランジのパッキン座面には、フランジガードが貼ってありますが、砂、ゴミ等が入り漏れ及び故障の原因となりますので、取付け直前まで取り外さないで下さい。また、配管取付けの際は必ず取り外して下さい。

7. 配管要領

- (1) 取付の際は、配管内およびフランジ面の切粉、溶接スパッター、スケールなどを充分清掃して下さい。
- (2) ストレーナには流れ方向がありますので、ボディの表示によって方向確認をして配管して下さい。
- (3) ドレン抜きプラグが下になるように取付けて下さい。また、スクリーンを抜き取るためのスペースを確保しておいて下さい。
- (4) ストレーナを配管する際は、フランジに貼ってあるフランジガードを必ず取り外して下さい。
- (5) ストレーナのフランジと配管フランジの間に、流体に適合したシール剤を塗布したガスケットを、ずれのない様に正しい位置に挟み込んで、取付けて下さい。
- (6) ストレーナの自重によって、配管または取付け部に無理な荷重がかからないように、ストレーナまたは配管を支持して下さい。
- (7) ストレーナは、配管の膨張、収縮、地盤沈下、地震などによって無理な力を受ないように取付けて下さい。

8. 使用上の注意

- (1) ストレーナには流れ方向がありますので、ボディの表示により方向を確かめて、間違いのないように取付けて下さい。
- (2) スクリーンにごみが詰まると、流体抵抗が大きくなりますので、定期的にごみを排除して下さい。ごみ排除の周期は、流体の状況により異なりますので、取付け後、スクリーンの状況を見ながら周期を決めて下さい。また、ネットが破れている場合は、速やかに修理または交換して下さい。

9. 点検および保守

設備の運転開始時、運転終了時、および運転中に以下のような点検を行なって下さい。

- (1) ボンネット部に漏れがあった場合は、分解組立要領にしたがって、ガスケットを交換して下さい。
- (2) プラグ部からの漏れがあった場合は、分解組立要領にしたがって、ガスケットを交換して下さい。

その他、高圧ガス保安法の管轄下で使用されるバルブは、法規上の規定に基づき検査を実施して下さい。

10. 分解・組立要領(構造図を参照して下さい。)

10.1 分解要領

- (1) 残ガスの置換を行い、内圧がゼロであることを確認して配管よりストレーナを外して下さい。
- (2) ③プラグを外して、⑥ガスケットを外して下さい。
このとき、プラグおよびボンネットのシール面に傷を付けないように注意して下さい。
- (3) ⑦押えナットを緩めて、②ボンネット、⑤ガスケット、④スクリーン組品を取り出して下さい。このとき、ボンネットおよびボディのシール面に傷を付けないように注意して下さい。

10.2 組立要領

- (1) 分解した部品のごみ、錆などは充分清掃して下さい。
- (2) ⑤⑥ガスケットは新品と交換し、表面には流体に適合したグリースを少量塗布して下さい。
- (3) スクリーンが破れているものは修理するか、新品と交換して下さい。
- (4) 組立は分解と逆の手順で行ないます。

11. 交換部品

分解検査の際に交換するパッキン部品類は、純正部品を使用して下さい。
詳細については、宮入バルブ製作所各営業所へお問い合わせ下さい。

12. 保証期間

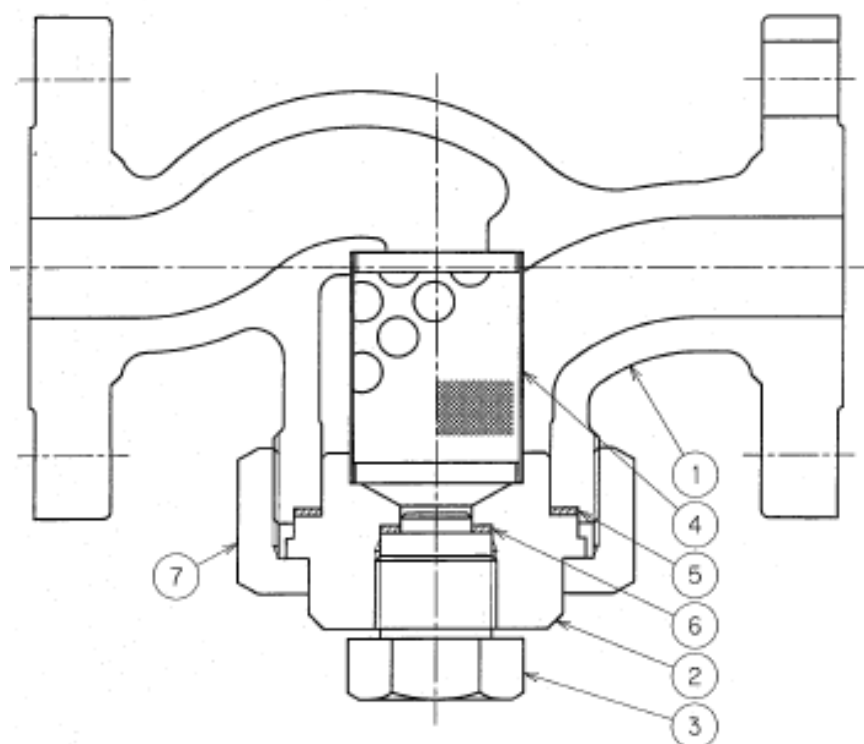
弊社工場出荷後 18 ヶ月内または設置後 12 ヶ月内のうち、何れか早く到来する期間内において、製造上の問題に起因する故障が判明した場合には、無償修理または交換を行ないます。

13. アフターサービスについて

- (1) 製品に異常が生じた場合
- (2) 製品の修理が必要な場合
- (3) 交換部品が必要な場合

上記のご相談は、宮入バルブ製作所各営業所へお問い合わせ下さい。
※型式・サイズ・図面番号等をお知らせ下さい。

14. 構造図



7	押エナット	SCPH2	1	
6	ガスケット	PTFE	1	
5	ガスケット	PTFE	1	
4	スクリーン	SUS304	1	40 メッシュ
3	プラグ	SUS304	1	
2	ボンネット	S25C	1	
1	ボディ	SCPH2	1	
No.	PART NAME	MATERIAL	QTY.	REMARKS

本製品についてのご質問、及び定期点検のご相談、ご依頼は下記の営業所までご連絡ください。



本 社	〒104-0061	東京都中央区銀座西 1-2	(Tel) 03-3535-5575	(Fax) 03-3567-6834
甲 府 工 場	〒400-0206	山梨県南アルプス市六科 1588	(Tel) 055-285-0111	(Fax) 055-285-7175
札幌営業所	(Tel) 011-786-1110	(Fax) 011-786-1120	名古屋営業所	(Tel) 052-951-3860 (Fax) 052-951-3862
仙台営業所	(Tel) 022-295-4670	(Fax) 022-295-4671	大阪営業所	(Tel) 06-6541-8711 (Fax) 06-6541-8718
東京営業所	(Tel) 03-3535-5571	(Fax) 03-3567-6834	九州営業所	(Tel) 093-921-0981 (Fax) 093-921-0984